

エックス線装置に関する概要書

1 エックス線装置に関する事項

台数		台						
エ ッ ク ス 線 装 置	設置年月日	年 月 日			年 月 日			
	製造年月日	年 月 日			年 月 日			
	設置時の状態	新 品 ・ 中 古 品			新 品 ・ 中 古 品			
	製作者名							
	型式							
	高電圧発生装置 の定格出力	区分	管電圧	管電流	撮影時間	管電圧	管電流	撮影時間
		連続	kv	mA	—	kv	mA	—
		短時間	kv	mA	秒	kv	mA	秒
		蓄電式	kv	μF	—	kv	μF	—
	主な用途		撮影 ・ 透視 ・ 治療			撮影 ・ 透視 ・ 治療		
装置のタイプ		固定式・可搬式・ポータブル			固定式・可搬式・ポータブル			
エックス線管の容器及び照射筒の漏れ放射線量		規 制 値 (以下 ・ 超える)			規 制 値 (以下 ・ 超える)			
総ろ過量		mmAl当量			mmAl当量			
透 視 用	時間の積算かつ警告音を発することができるタイマー	有 ・ 無			有 ・ 無			
	利用線すい可動絞り装置の構造	適 ・ 否			適 ・ 否			
	受像器を通過後の放射線量	規 制 値 (以下 ・ 超える)			規 制 値 (以下 ・ 超える)			
	最大照射野を3cm超える部分を通じたエックス線の放射線量	規 制 値 (以下 ・ 超える)			規 制 値 (以下 ・ 超える)			
	被照射体周囲の利用線すい以外のエックス線防護設備	有 ・ 無			有 ・ 無			
撮 影 用	利用線すい可動絞り装置の構造	適 ・ 否			適 ・ 否			
	照射野の直径 (口内法撮影用エックス線装置の場合)	cm			cm			
	エックス線管焦点及び被照射体から作業従事者までの距離 (移動型及び携帯型エックス線装置並びに手術用エックス線装置の場合)	m			m			
治療用	ろ過板保持装置 (インターロック)	有 ・ 無			有 ・ 無			

2 エックス線診療室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

1 週間の延べ撮影回数		回		
1 週間の延べ透視時間		時間		
診療施設の概要	形態	独立家屋（ 階建て）、マンション等の集合家屋（ 階建て 階）、その他（ ）		
	構造	耐火構造（ ）、木造・木造モルタル、プレハブ、その他（ ）		
エックス線診療室の概要	形態	エックス線診療専用の室、診療室と兼用の室 手術室と兼用の室、その他（ ）		
	操作室の有無	有 ・ 無		
診療室等の遮へい物等の概要			材質等	厚さ（c m）
	天井			
	床			
	周囲の遮へい物（画壁を含む）	（東側）		
		（西側）		
		（南側）		
		（北側）		
	監視用窓			
	出入口の扉			
	診療室の遮へい物の外側における実効線量		m S v / 週	
	診療室である旨の標識		有 ・ 無	
注意事項の掲示		有 ・ 無		

3 エックス線診療室の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界における実効線量		m S v / 3 月間
	立入制限措置		遮へい物（材質等： ）による区画 白線による区画、その他（ ）
	管理区域である旨の標識		有 ・ 無
敷地内の居住区域及び敷地の境界	人が居住する区域における実効線量		μ S v / 3 月間
	敷地の境界における実効線量		μ S v / 3 月間

4 その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋（ ） 、 防護エプロン（ ） その他（名称： 数量： ）
放射線測定用具の保有状況	フィルムバッジ（ ） 、 ポケット線量計（ ） 蛍光ガラス線量計（ ） 、 エクセルバッジ（ ） その他（名称： 数量： ）
放射線測定器の保有状況	有 ・ 無 (測定器名： 数量：)
線量測定方法	実 測 ・ 計 算
実測測定器名	
その他の措置（健康診断等）	

5 エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏名	エックス線診療に関する経歴

6 エックス線診療室における放射線測定者の概要

測定機関	名 称	
	所在地	
測定実施者氏名		
測定日	年 月 日	

(備考)

- | | | |
|---|---|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 エックス線管の位置を記入した診療所（室）の平面図 2 エックス線装置を使用する部屋の遮へい物等の配置状況 3 エックス線診療室における放射線測定結果書 | } | を添付すること |
|---|---|---------|